



小径のフライパン・片手鍋を ガスこんろで使う際の注意点！

⚠ バランスが変化し、傾いたり落下する可能性があります。

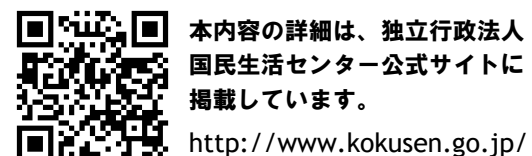
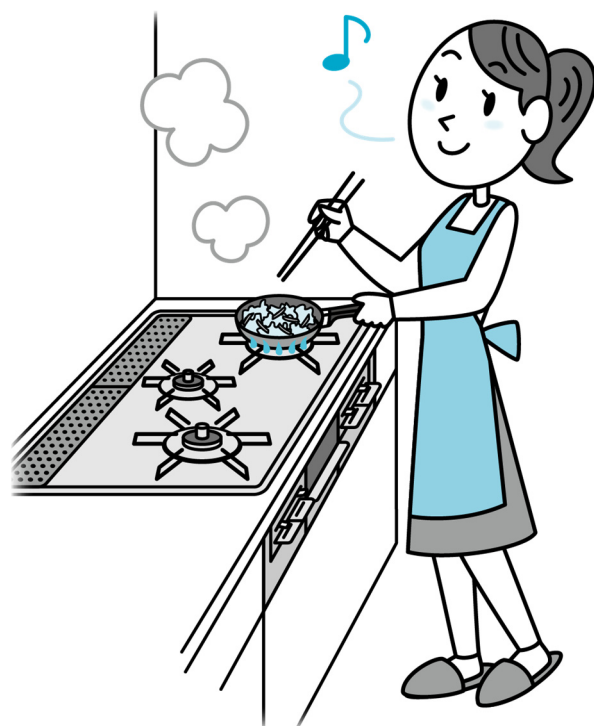
重量が軽いものを使用すると調理油過熱防止装置が鍋底を押し上げて傾いたり、落下したりするおそれがあり特に注意が必要です。取っ手や五徳のツメの向き、本体の位置等にも注意して、取っ手を持ちながら使用しましょう。

また、調理物を取り出す際や蓋を持ち上げる際など、内容物等の重さが減少するとバランスが変化して傾いたり、落下したりすることもありますので気を付けましょう。

🔥 火力に注意しましょう。

ガスこんろの火力が強いと、フライパン・片手鍋の取っ手に炎が直接当たりやすくなり、取っ手の樹脂部が焼損するおそれがあります。

特に小径の場合は、取っ手の根元部分が炎に近く、鍋底からはみ出した炎の先端が取っ手に直接当たりやすくなります。取っ手の樹脂部が耐熱温度以上になる状態で使用し続けると、取っ手が焼損して破断し、本体が脱落する可能性がありますので、火力には注意しましょう。



本内容の詳細は、独立行政法人
国民生活センター公式サイトに
掲載しています。
<http://www.kokusen.go.jp/>

最新の「**くらしの危険**」最新号やバックナンバーは
こちらからご覧いただけます。
公式サイト「**くらしの危険**」コーナー
<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>



●「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。●特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。●商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。●無断転載はお断りいたします。

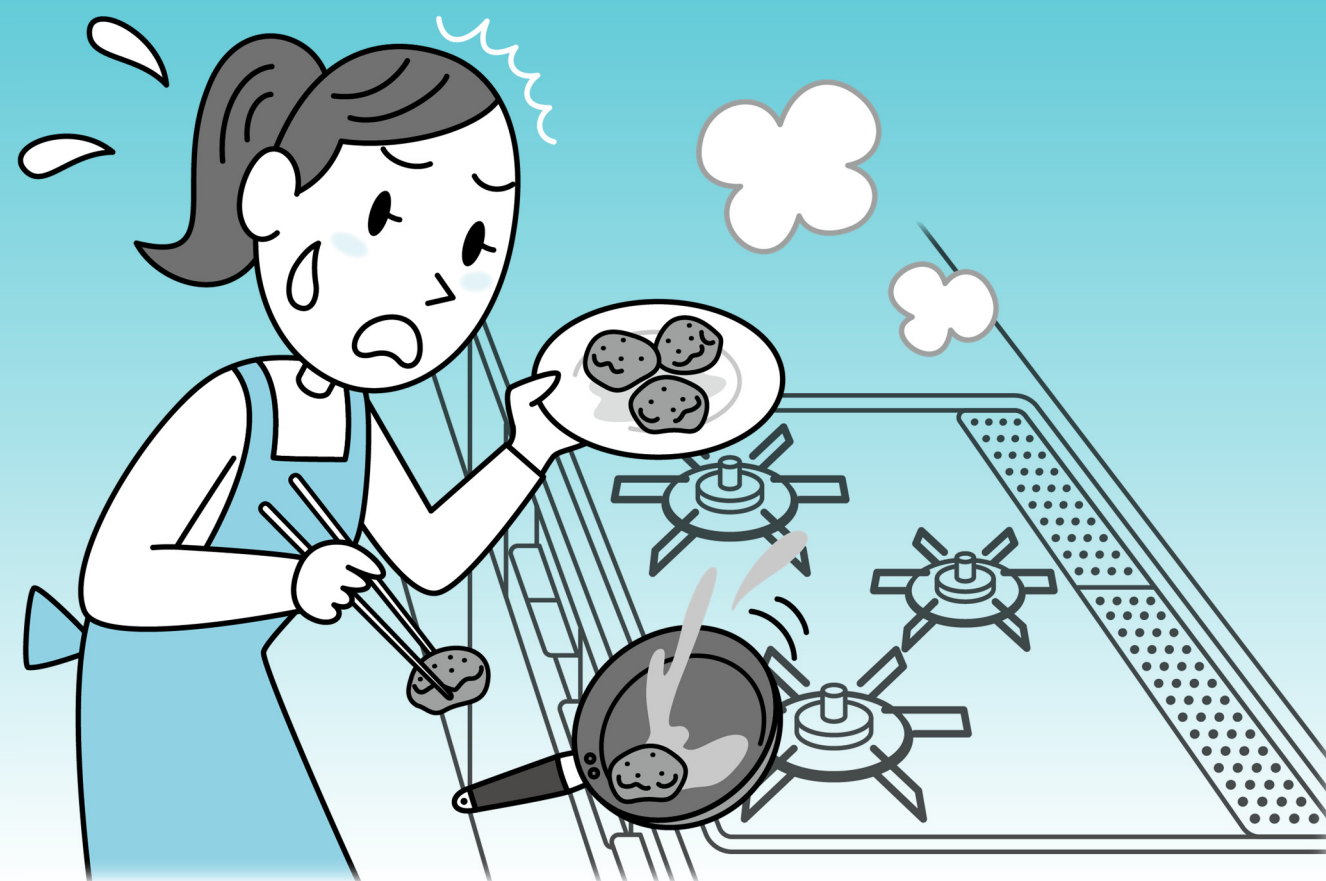


独立行政法人
国民生活センター

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ● 2021年 11月発行
イラスト: 川崎 敏郎

くらしの危険 Number 364

小径のフライパン・片手鍋の 取扱いに注意！



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、外出を控えて家庭内で過ごす、「ステイホーム」が推奨され、少人数の世帯や少量の調理では、比較的小径のフライパン・片手鍋を使用する機会が増えたのではないのでしょうか。

国民生活センターには消費生活センターから、毎年数件「フライパンをガスこんろの五徳に載せたところ傾き落下した」、「フライパンの取っ手の樹脂部が焼損した」等、調理の際の危険な状況について商品テストの依頼が寄せられています。

これらの事例は比較的小径のフライパン・片手鍋で多く発生していました。そこで、調理する際の安全な使用方法や注意点をまとめてみました。



こんな **危害・危険事例** が寄せられています

全国の消費生活センターなどには、**小径のものも含むフライパン・片手鍋の落下**に関する危害・危険事例が2016年4月～2021年5月までの5年あまりに**129件**寄せられています。

(2021年5月末までの登録分)

ケース 1

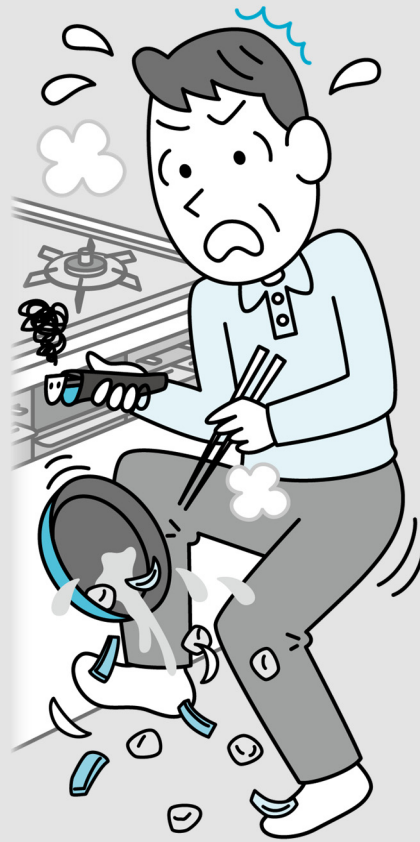
購入した内径18cmのフライパンの安定が悪く、ガスこんろの五徳に載せると手前に傾く。揚げ物をしていて、フライパンが傾き、油がかかりやけどを負った。

(受付年月: 2016年9月、50歳代・女性)

ケース 2

ガスこんろの炎が取っ手に当たりやすく、取っ手を固定している樹脂部が劣化し、取っ手が固定できなくなり、フライパン本体(内径約22cm)から取っ手が外れ、調理したものが足の上に落ちやけどを負った。

(受付年月: 2019年7月、60歳代・男性)



ガスこんろの上での**安定性**

調理油過熱防止装置が備わったガスこんろの五徳の上に様々な場面を想定した載せ方をした場合、フライパンがどうなるかテストしてみました。

五徳のツメの向きや位置等に注意して載せない**と調理油過熱防止装置が鍋底を押し上げ、ガスこんろから小径のフライパンが落下**することがあります。



五徳のツメと取っ手の向きによっては落下することも…



五徳へ載せる位置によっては、内容物を取り出した途端に落下することも…



ガスこんろの炎による**取っ手の焼損**

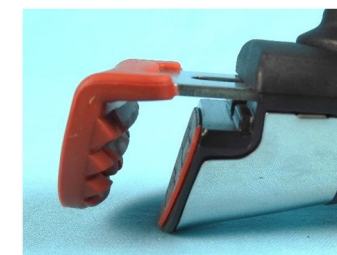
ガスこんろを最大の火力にした場合、樹脂部の表面が耐熱温度を超えるかテストしました。

- **樹脂部が耐熱温度を超え焦げたり劣化が生じる**ことがあります。
- **焼損して破断し、本体が脱落する**可能性があります。

焼損により本体が固定できなくなった取っ手の樹脂フック部



新品の状態



焼損した状態の例



欠落したフック部
焦げて炭化した樹脂部

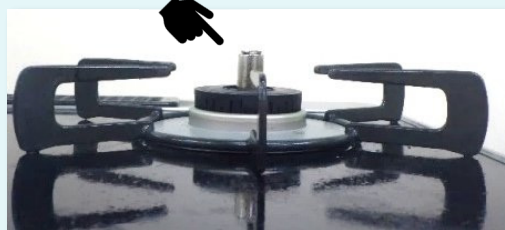


2008年10月1日以降に製造・輸入された**ガスこんろ**に義務付けられている

調理油過熱防止装置 とは…

センサーが鍋底の温度を感知し、250℃になったとき、自動的に消火する装置です。装置には、鍋底とセンサーを密着させるため、センサーを上方へ押し上げるバネが内蔵されています。

この突起が調理油過熱防止装置



バネの力で小径のフライパンが傾くほど押し上げられた様子